

なないろ通信

No. 5

「みよしまち育て塾」編

・・・育くみ隊活動は公共施設づくりのコーディネートから人と人との縁結びのコーディネートまで、まるで虹のように、いくつもの色がまざりあう多様な活動です。それに関わるスタッフもまた、年齢、職業、特技、性格など様々。この「なないろ通信」ではそんな育くみ隊に関わる人たちがそれぞれの視点で、育くみ隊活動を紹介したり、最近身の回りで起こった「エンガワ」な出来事、普段考えておかしなことなどを紹介します。

種木倶楽部が動き始めました!

旧種木館が井元さんのご好意により、新たに名前を変えて2005年9月まで活用させていただける事になりました。

◆ ボランティアも募集中です

お問い合わせは
種木倶楽部
電話 052-936-0821
(土曜 10時~17時のみ)
または
まちの縁側育くみ隊
(世話人会) まで

5月22日土曜日、平成16年度育くみ隊の事業から先陣を切って『みよしまち育て塾』がスタートしました。三好町は名古屋市の西、豊田市の東に位置し、両市への通勤圏ということもあり、現在の5万2千人という人口がまだ増えつづけている町です。

当日の育くみ隊メンバーには車椅子の久久保さんがみえました。通常三好町へは地下鉄鶴舞線「赤池駅」から車で移動するんですが、その赤池駅にはエレベーターがなく、我々はしかたなく一個手前の「平針駅」から車で移動することになりました。平針駅へは三好町の方がわざわざリフトカーを用意して迎えに来てくれました。後で聞いたんですが、平針駅よりも利用者が多いはずの赤池駅のバリアフリー整備が遅れているのは、平針駅は「名古屋市」、赤池駅は「日進市」だからだという話があるような・・・

さてワークショップはというと、まず延藤先生の「幻燈会」から始まり、Q&A、「希望の木づくり」ワークショップを行いました。グループワークでは「葉っぱカード」に「三好町のココがいい、こんな人いるよ、三好といえばコレ」というのを書いてもらいました。すると出るは出るは自分のまちの自慢ばなし。まち育ての必要あるのか?と思うほど。「やろまい花」には「大ちょうちん祭」「グリーンロードづくり」「みよし辞典づくり」「わかめ入みそ汁づくり」などが提案され、「やろまい」の気運はイイ感じ。何かしたくてウズウズしているようにも感じました。でもそんな人たちだからこそ、おもしろい仕掛けがあれば、きっとおもしろい「まち育て塾」になる!と期待しています。

今後みよしまち育て塾はレクチャーだけにとどまることなく、まちへ飛び出してアクションを起こします。またまた三好の素敵なお話を発見し、三好のまちを存分に味わいたいと思っています。楽しみだ。

<渡邊文紀/理事>

みよしまち育て塾

『なないろ通信』でも紹介しました『みよしまち育て塾』は5月から11月まで月に1回開講しています。第2回目のテーマは『まち育て塾のススメ方』です。2回目からの参加も大歓迎!どうぞお越しください。

- ※ 日時 6月26日(土)
13:30~16:30
- ※ 場所 三好町教育学習センター
- ※ 申込み・お問合せ
三好町都市計画課
電話 (0561) 32-2111

塾生募集中・さあ一緒にやろまいか!

岡崎市南部地域交流センター 基本計画ワークショップ

今年度の育くみ隊 ENGAWA design プログラムです。基本設計ワークショップのコーディネートを行います。

第1回

『幻燈会とワークショップQ&A』

- 日時 7月3日(土)
13:30~16:30
- 場所 県勤労福祉会館
(P17プラ 岡崎) 小ホール

風の言ひ遣

私が生まれた愛知県半田市の中心部を流れる半田運河。昨年GWの期間中、その半田運河の上空を数多のこいのぼりが泳ぐようになった。市の商工観光課と商工会議所の呼びかけで、知多半島全域の家庭からもあげなくなったこいのぼりを募集し、往年の雄姿そのままに運河の岸辺で泳がせているのだ。風を孕んで悠々と泳ぐこいのぼりは実に壮観で、感動的でした。普段見慣れている風景に、人々の懐かしい思い出に彩られたものを付け加えてみると、その風景はなんとやわらかな色調を帯びてくることだろう。予算をかけなくても、まちを魅力的に息づかせることは可能なのだ。改めてそのことを教えてくれた半田運河のこいのぼりであった。<大久保康雄/理事>

まちの縁側大楽 ~ 開講記念ライブ・トーク ~

7月から始まる『まちの縁側大楽・まち育てコーディネーター(エンジニア)養成熟』に先駆けて、ライブ・トークを行います。

お招きするのは、千葉県習志野市秋津の岸裕司さん。秋津ノリノリ団の仕掛け人かつコーディネーターです。秋津でできたことは誰でもどこでもできるという信念のもと「学校と地域の融合教育研究会」(融合研)を有志と設立し、全国のまちや学校へ向いて普及活動にいそしんでおられます。次から次へと「縁」が起りつづける世界をひらき、多様な「エン」を創造的につむぎだすまち育てコーディネーター「エンジニア」の元祖、岸裕司さんのお話を一緒に聞かせてもらいましょう!

- ◇ 日時 6月27日(日)
13:30~16:00(開場 13:00)
- ◇ 場所 種木倶楽部(旧種木館・井元邸)
- ◇ 定員 100名
- ◇ 会費 NPO会員・学生 500円
一般 1,000円

申込み・お問合せはまちの縁側育くみ隊まで

「社の宮市」参加レポート



5月2日の社の宮市は楽しさ一杯の日でした。入ってすぐ地球のことを思いやる巨大地球バルーンが目にとまり、子供たちは中はしゃがみ笑顔にあふれていました。

おばちゃん飛び入りがあったバラティに富んだ生音ライブ、ワクワクしてしまうギャラリーマーケットのアート感覚、市長らによるトークライブなど他にもイベントがあつてとにかくにぎやかでした。

育くみ隊は豊コーナーをつくり、そこに駄菓子を並べながら活動紹介をしていました。駄菓子は好評でほとんど

売れてしまいました。初めて参加した私は、真清田神社の境内の気のよさに和まされ、また自分たちの祭りを行いたいという志民の熱気と協働のパワーが感じられ、とてもすがすがしい気持ちです。<中島智明/理事>

寄付ありがとうございました

五十嵐ベティさん(縁側寄付)
荒木洋美さん(パソナ)

最近「デジカメがあれば紙面をよりグレードアップさせられるのに・・・」などと思うことがタマに、いえ本当はしょっちゅうあります。不要なデジカメをお持ちの方は、是非MOMOまで一報ください★

* 編集後記 *

今月もまたまたエンガワの時期がやってきました。今月号もドタバタと編集作業やっております。なんだか月を経る毎に余裕がなくなっているような.....。気のせいですが。今日、MOMOに来る途中で、先月号で紹介されたこの辺のお祭り「天王祭」の山車を見かけました。練習かな。お祭りもそろそろです。<藤原貴代/会員>

取材情報・投稿・編集スタッフ募集!!

こんないい場所、おもしろいネタあります。行ってきました。など取り上げてほしい情報・話題をどんどんお寄せください。また、一緒に編集やってみたいという方もご連絡ください。お待ちしております。



『エンガワNo. 5<6月号>』平成16年6月1日発行
NPO法人 まちの縁側育くみ隊 代表理事 延藤弘
編集 渡邊・藤原・鈴木
名古屋市中区代官町1-5 まちの縁側MOMO内
Tel/Fax: 052-936-1717
E-mail: info@engawa.ws